

令和3年度

八万南小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導方法の工夫
～各教科における主体的・対話的な学びの中で
「できること」「わかること」が実感できる45分の組立て～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 池田 佳世
委員【校長】①真鍋紀子【教頭】②新田和郎 ③東出稔【教務】④澤口智子【研修】⑤平岡伸章
【各学年等】⑥佐々木望⑦稲生好恵⑧日浦孝則⑨宮本裕美⑩西野瞳⑪金澤卓治⑫鈴木あゆみ⑬布川有加

校長

真鍋 紀子 印

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○3年生以上の九九到達度テストにおいて、習得率が高い。 ●漢字や計算の基礎的・基本的な知識・技能の習得について、格差がある。	①読み取る力の向上を目指す。 ②当該学年の漢字・計算を概ね習得し、ミニテスト(漢字・計算)で80点以上習得の児童が8割以上を目指す。	・週1回は新聞を読む時間を確保する。 ・各学年に応じて反復学習やミニテストを実施する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ノートやホワイトボードを活用して自分の思いや考えを表現できるようになってきている。 ●課題や目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考え表現することに課題がある。	①目的や課題に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを表現することができる。(主に話すこと・書くこと) ②話し合い活動の中で、意欲的に意見交換を行い、考えを深め合うことができる。	・タブレットを活用し、自分の考えを書いたり、伝えたりする活動を実践する。 ・児童の実態に即して表現の仕方を示すことで、適切な言語活動ができるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○決まった課題に対して、真面目に取り組むことができる。 ●自らの学習課題を把握し、解決できるように取り組むことは十分ではない。	①学習に対する姿勢を身につける。 ②自らの学習課題を把握し、解決に向けて取り組むことができる。	・全教師が学習規律(「チャイム着席」「学習の準備」「聞く態度」)の指導を徹底する。 ・効果的な資料の活用や授業計画の改善を進める。 ・PDCAサイクルが実践できるような授業づくりに取り組む。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

